



福井市自然史博物館

# 博物館だより

FUKUI CITY MUSEUM OF NATURAL HISTORY NEWSLETTER



セーレンプラネット展示室

## 福井の自然史情報

### セーレンプラネット(福井市自然史博物館分館)がオープン!

2016年4月28日(木)、JR福井駅から徒歩1分、福井で一番高いビル「ハピリン」5階に日本一高精細なリアル8Kドームシアターを備えた、宇宙・天文の博物館、セーレンプラネット(福井市自然史博物館分館)がオープンします!



裏面に展示アイテムの紹介があります。

福井市自然史博物館 第81回特別展

## 奇跡の惑星 地球

# 「昆虫たちのメッセージ ～守り伝えたいふくい自然環境～」

開催期間 ● 2016年3月19日(土)～5月22日(日)

近年の環境変化により、福井県でも多くの野生生物で絶滅が心配されています。本展では、2012年から福井県が実施したレッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）改訂事業の調査成果をもとに、特に昆虫に焦点を当てて、福井県の自然の移り変わりや現状について紹介します。

福井県の夜叉ヶ池にしか生息しないヤシャゲンゴロウ、足羽山でしかみつからないゴミムシをはじめ、県内ではめったにみられなくなったタガメ、ゲンゴロウなどの標本や写真、生態動画などを展示。ゲンゴロウの仲間など一部の昆虫は生きた状態でも展示します。絶滅のおそれのある昆虫たちを間近に見て、ふるさとの自然のこと、ちょっと考えてみませんか？

## 展示解説書も発行！

今回の展示開催を記念して、フルカラーの展示解説書を発行します。

絶滅危惧種の昆虫の生態写真、標本写真をふんだんに使い、県内の7つのタイプの環境（里山、水辺、草地、自然林、河川・河原、海浜（砂浜海岸）、亜高山帯）別に生息する絶滅危惧種の昆虫について解説するとともに、それぞれの環境が昆虫にとってどのような生息環境か、そしてそれがどのように変化しているのかについて紹介しています。標本写真は、1種につき真上と斜め上から撮影した写真を併用し、昆虫の特徴を迫力があるように、かつわかりやすく伝わるように試みました。また、2016年に発表予定の福井県の改訂版レッドリストでのカテゴリーと2012年に発表された環境省の最新のレッドデータブックのカテゴリーを併記し、種の分布、生態、生息環境、全国的な減少状況と福井県での生息状況を記載することで、福井県に生息する絶滅危惧種の昆虫図鑑としても使えるように工夫しました。

加えて、生物多様性とは何か、生物多様性をなぜ守っていかなくてはならないのかについてもわかりやすく解説しています。さらに、ふるさとの自然保護を考える一歩を踏み出していただけるように、身近な自然である足羽山で四季を通して昆虫を楽しむ方法、足羽山で見ついている絶滅危惧種の解説ページも設けています。

本書が一人でも多くの方にとって、昆虫を通してふるさとふくい自然の移り変わりや現状を知り、身近な自然観察から自然保護に関心を持つきっかけになることを願っています。



第81回特別展展示解説書  
「昆虫たちのメッセージ  
～守り伝えたいふくい自然環境～」

A4版76ページ フルカラー 700円  
2016年3月19日 発行予定

## 1. 生物多様性と自然の恵み

近年、環境問題が取り上げられる際に使われるようになった「生物多様性」という言葉。このコーナーでは、福井県に生息するチョウ、ガ、甲虫などの多彩な標本を展示し、生物多様性とは何かを紹介します。

また、生物多様性が維持されていることによって私たち人間は自然から多くの恵みを得ています。生物のもつ優れた構造や機能を参考に、新しい製品を作り出す技術（ネイチャー・テクノロジー）もそのひとつ。モルフォチョウの翅が青く輝くしくみを応用した繊維、カの口の構造を応用した痛みを軽減する注射針など、昆虫の構造や機能を応用した技術製品も展示します。

## 2. 野生生物の絶滅とレッドデータブック

現在、人間活動の影響によって環境が変化し、多くの野生生物が絶滅、あるいはその危機にさらされています。このコーナーではニホンオオカミ、トキ、ニホンカワウソなど日本で絶滅した野生生物の写真をはじめ、福井県から姿を消した昆虫、植物、貝類の標本を展示します。

また、福井県の夜叉ヶ池にのみ生息するヤシャゲンゴロウをはじめ、県内で深刻な絶滅の危機にさらされている野生生物の標本、写真、動画を展示するとともに、それらを守るための基礎資料としてのレッドデータブックについて紹介します。

※レッドデータブック…絶滅のおそれのある野生生物の生息状況をとりまとめ、その保護対策や教育普及を推進することを目的とした冊子。



ヤシャゲンゴロウ

## 3. 福井県の自然環境と絶滅危惧種の昆虫たち

### ～レッドデータ昆虫図鑑～

福井県の7つの自然環境（里山、水辺、草地、自然林、河川・河原、海浜（砂浜海岸）、亜高山帯）別に、各環境に生息する絶滅のおそれのある昆虫たちを標本、写真、動画で紹介しします。また、各環境で昆虫たちが生息数を減らしている要因についても解説しします。



タガメ



オオムラサキ



ゲンゴロウ



キンイロネクイハムシ

## 4. ふるさとの自然を守り伝えていくために

ふるさとの自然を守るための何よりも大切な一歩は、私たち一人ひとりが自分の住む地域の環境に関心を持つことです。福井市民にとって身近な自然である足羽山で各季節にみられる昆虫を紹介するとともに、足羽山でしか見つかっていないゴミムシなど、足羽山に息づく絶滅危惧種の昆虫をとりあげます。また、福井市の天然記念物に指定されている足羽三山のギフチョウを守るための当館の取り組みなども紹介しします。



ギフチョウ



アスワメクラチゴミムシ

# セーレンプラネット 展示ピックアップ!

(福井市自然史博物館分館)

セーレンプラネットは、13の展示コーナーと、内径17mのドームシアターで構成されています。その中から、一部を紹介します。

## ふくいシティ&ユニバース



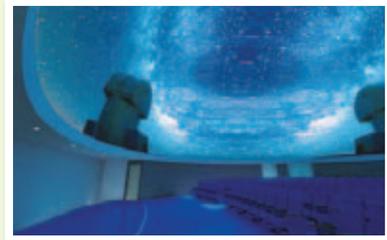
この展示では、壁面の4×5mスクリーンと、床面にある直径5mの円形スクリーンの映像を連動させ、迫力ある映像を演出します。床面スクリーン中央にはセーレンプラネット周辺の立体模型があり、外径21mのドームを太陽に見立てた場合の惑星の軌道を福井の町と重ね合わせることで、太陽系の広がりについて直感的に知ることができます。

その他のコンテンツとして、太陽系にある惑星の大きさの比較、月の動きと満ち欠けに、小惑星探査機「はやぶさ」の軌跡なども紹介、解説します。

## ドームシアター

セーレンプラネットのドームシアターは、日本一高精細な解像度を誇る「リアル8K」です。これは、テレビ放送をはるかにしのぐ解像度になり、肉眼では見ることのできない小さな星まで忠実に再現することが可能です。また、開館を記念し、2本のオリジナル映画を制作しており、ドームシアターで見ることができます。

ドームシアターと同じ映像システム・撮影機材・映像編集システムと直径3mの小型ドームを備えた、市民がドーム映像を撮影・編集することができる「シアター工房」もあり、編集した映像をドームシアターで投影することも可能です。



## 御月見ノ間

福井の名庭として知られる名勝養浩館庭園は、元は「御泉水屋敷」と呼ばれた福井藩主松平家の別邸です。池の東岸の数寄屋造りの建物に設けられた一室は、「御月見ノ間」と呼ばれています。東側の月見台からは清流越しに昇る月、西側の出書院からは池に映る月、というふうに、様々な月の姿を楽しむことができます。

この展示では、養浩館庭園の御月見ノ間を模した空間で、月から生まれた物語やお月見の文化、曆をはじめとした様々な知恵など、人と月との深いつながりについて紹介します。



## 宇宙アトラス

宇宙には様々な天体が存在しますが、その規模は全く違います。例えば、銀河系の大きさは、地球から太陽までの距離の60億倍以上です。

このように規模の異なるものを表現する場合に用いられるのが、10の累乗です。10<sup>n</sup>は10をn回掛けたものを表し、nに当てはまる数字が1大きくなるごとに大きさは10倍になります。メートルにすると、太陽系は10<sup>13</sup>m、銀河系は10<sup>21</sup>mの範囲に入ることになります。このように異なる規模で存在する天体や天文現象について、それぞれの規模で紹介いたします。



### 《あとがき》

今号では、開館が間近に迫った自然史博物館分館「セーレンプラネット」について取り上げました。分館の展示とリアル8Kドームシアターが、広大な宇宙に目を向け、自然や科学に興味関心を持ってもらう糸口となってほしいと思います。

また3月19日からは、福井県内で絶滅が危惧される昆虫たちをテーマとした特別展が開催されます。変わり行く福井の自然環境と、そこに棲む生き物たちにも、ぜひ目を向けてみてください。

(有馬)

### 《交通案内》

- 【電車】**  
●福井鉄道福武線 足羽山公園口駅・商工会議所前駅 各徒歩20分
- 【バス】**  
●京福バス：清水グリーンライン(74系統) 足羽山公園下バス停(あじさいの道登る)、不動山口バス停(藤島神社登る) 各徒歩10分  
●コミュニティバスすまいる：西ルート(足羽・照手方面) 愛宕坂バス停 徒歩10分
- 【徒歩】** JR福井駅から徒歩30分

### 《ご利用案内》

- 開館時間 ●午前9時～午後5時15分(入館は午後4時45分まで)  
休館日 ●月曜日(祝休日は開館)、国民の祝休日の翌日、年末年始
- 入館料 ●高校生以上100円(20名以上の団体は半額)  
中学生以下、70歳以上、障害者および付添の方は無料

